

【徳】重点課題 思いやり・相手を尊重する心の育成

目標…「周りの生徒が自分のよいところを認めて
くれる生徒」 80%以上

※ 人間関係づくり活動を通して、生徒同士の人間関係の醸成に努める。

- 前年度の反省 前年度は「心のこもった挨拶ができる生徒」80%以上を目標に設定したが、教師側からの声かけが中心となり、生徒会活動としての取組にまで広めることができなかった。挨拶ができない生徒は一部にいるが、挨拶をしっかりと返せる生徒、自ら進んで挨拶ができる生徒も多くいるので、声かけを続けて行く必要はある。ただ、「心のこもった」という部分に関して、目標の達成基準が不明確になるという反省が挙げられた。そこで、今年度は重点課題や生徒の現状を踏まえ、日常生活や学校行事等、教育活動全体を通して多様な個性や互いのよさを認め、協力して学びに向かう人間関係を構築していく必要がある。
- 教科や道徳授業 教科や体験活動を通して、互いに高め合い、実践しようとする心情や態度を育てる。
- 特別活動等 生徒会活動を通して、自治と自立の力を育み、望ましい人間関係を形成し、よりよい生活づくりに参画しようとする態度を育てる。
- 生徒会活動 生徒会執行部が行事や集会等の場を活用し、全校生徒に挨拶の推進を呼びかける活動を継続的に行う。